

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32401	経済のしくみ Basic Economics	古橋 敬一		専門	2	選択	1.2前期
科目の概要							
<p>私たちが暮らす世界はさまざまなシステムの複合体として成立していますが、その大きなパーツの一つに経済があります。この講義では、「経済のしくみ」と題して、それを理解するための経済学の基礎を学習します。経済学というと難しいイメージがあるかもしれませんが、理解しようという気持ちを持ち（主体性）、授業を聴き（傾聴力）、何故かを考えてみる（課題発見力）が大切です。これらを通じて、建学の精、社会人基礎力、pisa型学力の修得も目指します。基本的な用語から考え方を丁寧に学び、現実の暮らしに役立つ知識を身につけましょう。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 経済のしくみ、経済学の用語（キーワード）の意味、基本的な考え方を理解する。 ② 役立つ経済（学）の基礎知識と「ものの見方」を獲得する。 ③ 現代社会における経済の諸問題を理解し、その解決法を考えられるようにする。</p>				<p>① 経済学の用語（キーワード）の意味や基本的な考え方を理解し、説明できる。 ② 日々、報道される経済の動きに関心を持ち、その意味や原因、自分の生活との関係を考えることができる。 ③ 現代社会における経済の諸問題に関心を持ち、自ら調べ、その問題の所在を言語化できる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。事前配布資料は必ず読み、提出する（欠席した場合は欠席課題とするので後日レポートを提出する）。					
	働きかけ力						
	実行力	課題レポートは期限内に提出することができる。					
考え抜く力	課題発見力	課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。					
	計画力						
	創造力	課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。					
チームで働く力	発信力	教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題プリントに自分の疑問、意見を書くことができる。					
	傾聴力	教員の講義はどのようなことを言っているか考えながら聴き、大事なことはメモをとりながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。 参考文献：経済学の入門書で近年に発行のもの。</p>							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「ビジネススタディユニットの各科目」は関連性が深い。							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>① 講義形式を中心とするが、受講生の参加（授業中の発言、振り返りシートの記入）を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り（新聞、テレビ、インターネット等含む）にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。</p>				<p>① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	（レポート試験）経済問題を1つ選び、その原因と解決策についての意見を述べる（1,600字） ① 授業で紹介した用語、基礎知識を理解しているかを評価する ② 実際に起きている経済の動きを学んだ知識で考えることができるかを評価する （傾聴力、課題発見力、創造力）	
				②	✓		
				③			
	学修成果	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポ ー ト		20	①	✓	（レポート、中間段階）新聞、テレビ等のニュース、ネットのニュースサイトで見つけた経済ニュースをリストアップする（1,200字以上） （実行力、課題発見力、創造力）
					②	✓	
③							
成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等）			0	①			
				②			
	③						
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度）		10	①	✓	（主体性）シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。配布プリントは必ず読み、（欠席した場合は欠席課題として後日レポートを提出）。 （実行力）課題レポートは期限内に提出することができる。 （課題発見力）課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。 （創造力）課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。 （発信力）教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題シートに自分の疑問、意見を書くことができる。 （傾聴力）教員の講義はどういうことを言っているか考えながら聴き、大事なことはメモをとりながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォロー課題を行う。	
				②			
				③			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：授業で紹介した経済のしくみをキャリア形成に活かすことができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた） A(優)：経済の事例を調査、分析することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた）	B(良)：授業で紹介した経済学の用語について説明することができる（筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた） C(可)：授業で紹介した経済学の用語について、不十分ではあるが一通り説明することができる（筆記試験で該当する設問（記述式）に不十分ではあるが一通り答えることができた）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーションとして、この授業の全体構成を理解する。この授業では、経済のしくみをひもとくために、①お金と②経済史の二つ分野について、複合的に学ぶ。	講義	経済のしくみをひもとくツールとして、本講義では①お金と②経済史を学ぶことを理解する。	貨幣と経済の意味を歴史にそって理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	お金と経済の関係について、貨幣制度の変遷とそれが与えた経済の影響を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。	金本位制と管理通貨制度について理解する。	金本位制と管理通貨制度についての歴史を理解し説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	市場の成り立ちとしくみを把握し、と価格の決め方を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。	モノの価格の決め方と市場の成り立ちを理解する。	モノの価格の決め方と市場の成り立ちを理解し説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	私たちの生活と経済の関係について、収入の種類とローンの仕組みを学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。	収入の種類とローンの仕組みを理解する。	収入の種類とローンの仕組みを理解し、説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	銀行の役割として、金融機関の形態とそれぞれが果たしている機能を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。	金融機関の形態、銀行の役割について理解する。	金融機関の形態、銀行の役割について理解し、説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	保険のしくみについて、その種類とそれぞれの役割を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。	保険とは何か、その種類と仕組みを理解する。	保険とは何か、その種類と仕組みを理解し、説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	企業活動と経済の関係について、企業形態と株式取引について学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。	企業形態と株式取引について理解する。	企業形態と株式取引について理解し、説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	税金のしくみについて、その役割と種類について理解する。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバックする。 レポートの出題について説明する。	税金の役割と種類について理解する。	税金の役割と種類について理解し、説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	公金の役割について、その用途と効果を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバックする。 レポート課題を提出する。	公共のお金の用途とその役割について理解する。	公共のお金の用途とその役割について理解し、説明できるようにする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	資本主義の誕生についての歴史を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバックする。 レポート課題のフィードバックをする①	資本主義誕生の概略について理解する。	資本主義誕生から歴史の概略を理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	経済と戦争の歴史について、その関係を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバックする。 レポート課題のフィードバック②	経済と戦争の関係の概略を理解する。	経済と戦争の関係を歴史的な流れとして理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	バブル経済について、その構造を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバックする。 レポート課題のフィードバック③	バブル経済の構造を理解する。	バブル経済を歴史的に把握して、その構造を理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	長期不況について、2000年代からの不況の概要を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバックする。	2000年代から続く長期的な不況の概要を理解する。	2000年代から続く長期的な不況の概要を歴史をふまえて理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	アベノミクスについて、その歴史と残された課題を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	アベノミクスの概略を理解する。	アベノミクスを振り返って歴史的に把握し、残された課題を理解する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	これまでの総括全体を総括する。	講義 グループワーク 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバックする。	ここまでの講義の一つ一つのトピックの有機的な接続について理解する。	プリントやノートを再読みし、自己の考えをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力